

# あますなく拓きゆく道

(昭和十七年大東亜戦争頌歌)

切替辰哉君 作歌

池田政晴君 作曲

## 一

あますなく拓きゆく道  
あまぐも 天雲の向伏す極み  
地の涯ゆ、征かむ御楯と  
大詔もち、我等日の族  
源泉のごと湧きたたむ  
誇らかに諸声に  
血潮流さむ

## 三

どよめきぬ祖霊の行  
六合に頸く漲ぎり  
天津日は紅燃ゆる  
南方圏の洋路遙けく  
秀麗しき創成の神意  
重く負ふに務めして  
生命たぎちむ

## 五

帰るなき発程に起つ  
眸澄める我等若人  
皇国の道に挺身まん  
諸共に雄叫びすれば  
叫び和す新潮の声  
抒情清か、白鳥の  
海図に夢む

## 七

ここぞ茲、いかで忘れむ  
日に若き、恵迪の児よ  
たどり得し道の感喜  
溢れつつ、ほの認めけむ  
仰ぎ見る銀漢のほとり  
真実もて、弥生ひに  
継ぎて行かなむ

## 二

悠久の天詔琴  
今ぞ時、轟き赴きぬ  
高光り剣を植ゑて  
荒魂の魂にぞ生きむ  
遷るべく遷る亜細亜の  
峻しかる大いなる  
秋に生れし

## 四

欣求の宇宙蝕変満つも  
東亜の空、復円光らん  
斯くせずばやまぬ宿命と  
十億の健剛を禱みて  
国争り歩みゆくなり  
熱涙もて仰がなむ  
黎明の幸星

## 六

敵かの時の流れに  
新しき力よ躍れ  
鮮けき翳りの中に  
新しき叫よ挙がれ  
胸臆朗ら、身を透けて佇つ  
揺ぎなく、鍛へして  
先駆に埋めん